

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月7日

上場会社名 株式会社 平和
 コード番号 6412 URL <http://www.heiwanet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月7日

(氏名) 石橋 保彦
 (氏名) 坂本 浩之

TEL 03-3839-0701

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	10,519	—	△1,587	—	1,608	—	1,932	—
20年3月期第1四半期	17,021	△4.6	△362	—	△383	—	△865	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	13.75	—
20年3月期第1四半期	△8.56	—

(注) 当期より「四半期財務諸表に関する会計基準」等に基づき財務情報を作成しているため、当四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第1四半期	194,925	—	126,115	—	64.7	—	898.20	
20年3月期	195,289	—	128,188	—	65.6	—	908.50	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 126,115百万円 20年3月期 128,188百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	29,170	—	△730	—	3,840	—	3,400	—	24.10
通期	84,200	—	9,950	—	19,000	—	15,290	—	108.36

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

上記に記載した連結業績予想数値の対前期増減率につきましては、前連結会計年度の連結財務諸表数値との連続性がなくなっているため、全て「—」表記となっております。平成20年度の負ののれんの償却見込額として第2四半期累計期間約43億円、通期約86億円が営業外収益として含まれております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注) 詳細は2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 145,048,960株 20年3月期 145,048,960株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 4,639,747株 20年3月期 3,949,439株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 140,510,223株 20年3月期第1四半期 101,031,461株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 本資料に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により異なる結果となることがあります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における国内経済は、原油価格の高騰に伴う原材料価格の上昇が企業収益を圧迫し、更に米国サブプライムローン問題に端を発した国際金融市場の混乱等の要因により景気の先行きに不透明感が増加しています。

一方、遊技機業界におきましては、パチスロ新規機への入替による投資負担の増加とパチスロユーザーの減少による売上の減少が、パチンコホール経営を圧迫し、パチスロ機に比べ相対的に収益力に優れるパチンコ機へと経営の軸を移す動きがより鮮明になっており、今後も当面の間はパチンコ機優位の市場環境が続くものと思われまます。また、本年7月の「北海道洞爺湖サミット」開催に伴い、パチンコホール業界団体の決定により、6月上旬から7月中旬にかけて全国のパチンコホールにおける遊技機の入替自粛が実施されており、実質的な入替可能期間は約2ヶ月間となりました。

こうした中、当社グループでは、短期間の商戦に対応した効果的な営業活動を推進しました。

その結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は10,519百万円、経常利益は1,608百万円、四半期純利益は1,932百万円となりました。

なお、セグメント別の状況は以下の通りです。

(パチンコ機)

パチンコ機事業におきまして、「戦国乙女」、「ルパン三世 ルピナスタワーのダイヤを狙え! (遊パチ)」の計2シリーズを中心に販売し、その結果、当事業における販売台数実績は27千台、売上高は8,150百万円となりました。

(パチスロ機)

パチスロ機事業におきまして、「真黄門ちゃま」を中心に販売し、その結果、当事業における販売台数実績は7千台、売上高は2,088百万円となりました。

(その他)

当事業は、投資事業、情報配信サービス等、補給機器事業等によるものであります。当事業における売上高は281百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における総資産は、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度に比べ364百万円減少し、194,925百万円となりました。負債は、開発拠点の集約を目的とした用地取得のため借入を行ったこと等により、前連結会計年度に比べ1,709百万円増加し、68,809百万円となりました。純資産は利益剰余金の減少及び自己株式の取得等により前連結会計年度に比べ2,073百万円減少し、126,115百万円となりました。その結果、自己資本比率は64.7%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結業績予想につきましては、平成20年5月23日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

イ. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が、前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

ロ. 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,862	55,835
受取手形及び売掛金	12,793	22,700
有価証券	23,046	14,628
製品	129	652
原材料	18,648	17,719
その他	10,303	12,160
貸倒引当金	△129	△143
流動資産合計	123,654	123,553
固定資産		
有形固定資産	33,925	28,132
無形固定資産	236	256
投資その他の資産		
投資有価証券	30,728	36,691
その他	6,828	7,173
貸倒引当金	△447	△518
投資その他の資産合計	37,108	43,347
固定資産合計	71,270	71,736
資産合計	194,925	195,289
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,763	16,994
短期借入金	130	168
1年内返済予定の長期借入金	529	529
未払法人税等	187	276
引当金	171	331
その他	2,753	4,439
流動負債合計	20,535	22,739
固定負債		
長期借入金	8,466	2,398
引当金	2,428	2,402
負ののれん	36,559	38,710
その他	820	850
固定負債合計	48,274	44,361
負債合計	68,809	67,100

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,755	16,755
資本剰余金	90,627	90,627
利益剰余金	23,623	25,218
自己株式	△4,598	△3,912
株主資本合計	126,407	128,688
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△292	△499
評価・換算差額等合計	△292	△499
純資産合計	126,115	128,188
負債純資産合計	194,925	195,289

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	10,519
売上原価	7,361
売上総利益	3,158
販売費及び一般管理費	4,745
営業損失(△)	△1,587
営業外収益	
受取利息	245
受取配当金	19
負ののれん償却額	2,150
その他	896
営業外収益合計	3,312
営業外費用	
支払利息	14
投資事業組合運用損	39
減価償却費	44
その他	18
営業外費用合計	116
経常利益	1,608
特別利益	
前期損益修正益	108
固定資産売却益	3
貸倒引当金戻入額	85
特別利益合計	197
特別損失	
固定資産除却損	4
賃貸借契約解約損	2
特別損失合計	6
税金等調整前四半期純利益	1,799
法人税等	△133
四半期純利益	1,932

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	パチンコ機 (百万円)	パチスロ機 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	8,150	2,088	281	10,519	—	10,519
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	49	49	(49)	—
計	8,150	2,088	330	10,569	(49)	10,519
営業利益（又は営業損失(△)）	△342	△309	97	△554	(1,033)	△1,587

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、販売品目によって区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

- (1) パチンコ機……パチンコ機、パチンコ機ゲーヅ盤及び工業所有権使用料収入
- (2) パチスロ機……パチスロ機
- (3) その他……補給機器、投資事業、情報配信サービス等

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	17,021
II 売上原価	12,733
売上総利益	4,288
III 販売費及び一般管理費	4,650
営業損失(△)	△362
IV 営業外収益	1,381
V 営業外費用	1,403
経常損失(△)	△383
VI 特別利益	15
VII 特別損失	381
税金等調整前四半期純損失 (△)	△750
税金費用	114
四半期純損失(△)	△865

(2) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日）

(単位：百万円)

	パチンコ機	パチスロ機	補給機器	遊技場収入	その他	計	消去又は 全社	連結
I 売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	3,346	10,023	611	2,688	352	17,021	—	17,021
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,908	117	24	—	79	2,128	(2,128)	—
計	5,254	10,141	635	2,688	431	19,150	(2,128)	17,021
営業利益（又は営業損失）	129	210	△20	85	191	597	(959)	△362

(注) 1. 事業区分の方法

当社グループの事業区分の方法は、販売品目によって区分しております。

2. 各事業区分の主要な製品

- (1) パチンコ機……………パチンコ機、パチンコ機ゲージ盤及び工業所有権使用料収入
- (2) パチスロ機……………パチスロ機
- (3) 補給機器……………パチンコホール用パチンコ玉補給還元機及び補給管理コンピュータ
- (4) 遊技場収入……………パチンコホールの玉貸収入
- (5) その他……………リース、再保険業、投資事業、情報配信サービス等